

「女性」の観点から考察する日韓社会の課題

日韓国際シンポジウム

日程：2021年8月30日(13:00～18:30)

共催：立命館大学東アジア平和協力研究センター

立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会

協力：立命館大学コリア研究センター、立命館大学アジア・日本研究所

場所：立命館大学 - 衣笠キャンパス(存心館：ZS201)

オンライン：ZOOM・YOUTUBE(ZOOM申請者が300人超える場合は、YOUTUBEで観覧)

言語：日本語・韓国語(同時通訳)

後援：韓国国際交流財団

全体	全体司会：李定恩(立命館大学) 企画・ソフト・機種担当：関智焄(立命館大学)
13:00～13:15	Opening Session 挨拶 - 金友子(立命館大学：国際言語文化研究所ジェンダー研究会) - 中戸祐夫(立命館大学：東アジア平和協力研究センター)
13:15～14:25	◇性犯罪による女性人権問題の課題 司会(10分)：松本克美(立命館大学) 韓国側の発表(発表：20分、答え：5分) Lee Yoon-Jung(江原大学) -オンラインからの女性嫌悪とデジタル性犯罪 日本側の発表(発表：20分、答え：5分) 小宅理沙(同志社女子大学) -性暴力被害女性のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ 討論者(10分)：本山央子(立命館大学)
14:25～14:35	休憩
14:35～15:45	◇「ME TOO・女性運動」から確認する女性の処遇問題の課題 司会(10分)：辻本登志子(立命館大学)

	<p>韓国側の発表(発表：20分、答え：5分)</p> <p>Lee Hee-Eun(朝鮮大学 - 韓国)</p> <p>-メディア倫理とフェミニズム：ME T00 運動の事例を中心に</p> <p>日本側の発表(発表：20分、答え：5分)</p> <p>林貞和(大阪府立大学)</p> <p>-70年代初期のキーセン観光をめぐる日韓女性の連帯運動と残された課題</p> <p>討論者(10分)：澁谷知美(東京経済大学)</p>
15：45～15：55	休 憩
15：55～17：05	<p>◇ミソジニー(女性嫌悪)と女性差別による問題と課題</p> <p>司会(10分)：鳥山純子(立命館大学)</p> <p>韓国側の発表(発表：20分、答え：5分)</p> <p>Kim Soo-Ah(ソウル大学)</p> <p>-オンライン文化と嫌悪表現の問題</p> <p>日本側の発表(発表：20分、答え：5分)</p> <p>小島優子(高知大学)</p> <p>-ミソジニーの思想</p> <p>討論(10分)：茶園敏美(京都大学)</p>
17：05～17：15	休 憩
17：15～18：25	<p>Roundtable</p> <p>司会(20分)：秋林 こずえ(同志社大学)</p> <p>パネリスト全員：追加説明(各者の発言5分程度)</p>
18：25～18：30	<p>Closing Session</p> <p>挨拶</p> <p>- 勝村誠(立命館大学：コリア研究センター)</p>